



2002～2003年度
R I テーマ

「慈愛の種を 播きましょう」 :Sow the Seeds of Love

国際ロータリー会長 ビチャイ・ラタクル (国籍・タイ・バンコク)

2720地区

別府中央ロータリークラブ



例会日 火曜日 12時30分
ところ トキハ別府店 7F ぼたんの間
TEL 23-1111
事務所 別府市西野口町1番1号 青山通りビル3F
〒874-0931 TEL (0977) 23-9000
FAX (0977) 23-9019
E-mail: beppu4rc@fat.coara.or.jp

理事 後藤 隆
" 梅津ヤヨイ
" 村津忠久
" 河村貴雄

理事 森 宗明
" 宮地一久
" 小堀裕子

役員 会長 梶田健治
副会長 後藤 隆
幹事 平野英壽
会計 岩尾昭治

SAA 鳴海淳郎

VOL. 15-No.29
2003年2月4日

第 671 回 例 会

編集 小川 雅代

◆点 鐘 12:30

◆体 操 自律神経強化体操

◆国 歌 君ヶ代

◆R. S. 別府中央R.C.の歌

◆唱 歌 冬の夜

◆B.G.M. 「はじめてのピアノ」曲集より
アマリス
カッコーワルツ
森の水車 他

◆ビジター 西村 駿一
(RI第2720地区ガバナー)
吉弘 秀二 (日 出)
三浦 一郎 (別 府)
古川 功 (")
中村 光 (別 府 北)
黒岩 英 (別 府 東)

◆出席報告

委員長 中島 澄人

会 員 総 数	20 名
本 出 席 者 数	16 名
日 事 前 メイクアップ	0 名
の 理 事 会 承 認	1 名
出 出 席 免 除	0 名
席 欠 席 数	3 名
出 出 席 率	84.21 %
前 出 席 率	73.68 %
々 事 後 メイクアップ	1 名
回 の 理 事 会 承 認	1 名
訂 出 席 免 除	0 名
正 修 正 出 席 率	80 %
1/21	
連 続	一 回
通 算	一 回 100%

・メイクアップ

事後 河村 (東京王子)
欠席 木村、小川、梅津

会長の時間

会長 梶田 健治

最近、日高義樹著の「アメリカの世界戦略を知らない日本人」を読んだ。2、3回に分けてここに記します。

まず、イラク戦争について

今度のアメリカのイラクに対する戦争は、中東全域をアメリカの影響の下に置くのが狙いである。したがってヨーロッパがこの戦争を「石油戦略」というのは間違っていない。中東は第一次大戦以降、アラブの国々の独立を背景にイギリス、フラ

ンスがその利権の大半を手に収めた。その後、第二次大戦が始まったが、結局1960年代になって、核兵器を背景にしたソビエトがアラブの民遊主義を利用して中東の利権を大きく手にした。今度のアメリカの動きは、冷戦に勝ってソビエトを制したアメリカが、その余力をもって中東全域を支配しようという意図から出たもので、いってみれば当り前の動きである。このイラク戦争に対してドイツとフランスが猛烈に反対しているのは、自分たちの利益をアメリカがすべてにすることへの反感である。

以下次号へ



幹事報告 幹事 平野 英壽

—— 世界理解月間 ——

1. 本日の卓話
『世界理解月間に因んで』 森 宗明 会員
2. 2003～2004年度R I テーマが発表されました。



Lend a Hand

Lend a Hand 手を貸そう

四つの重点分野：

貧困・健康・識字・ロータリーファミリー

3. 財団法人ロータリー米山記念奨学会より、上妻 浩会員に米山功労者（300,000円）第1回目表彰のメダル・楯・略章が届きましたので、ご披露しお渡し致します。
4. 2月3日（月）12:30～ホテル白菊に於いて『別府市内4ロータリークラブ会長・幹事会』が開催され、当クラブより梶田健治会長、平野英壽幹事が出席致しました。
5. 例会変更のお知らせ
湯布院RC 2月12日（水）の例会は、大分城西RCとの合同例会の為 同日18:30～大分東洋ホテルに時間・場所変更
6. 本日例会終了後、13:40～『第8回定例理事・役員会』を開催致します。
7. お祝い
会員誕生日
村津 忠久 会員 （2月10日）
記念品をお渡し致します。
8. 次週（2月18日）の予定
～家族週間に因んでオープン例会～
『ロータリーの創立記念日
世界理解と平和週間に因んで』
※2月11日（火）は法定休日です。次週例会は2月18日（火）になります。

9. 本日の回覧

- ①『アフガニスタンから
地雷をなくそう100円キャンペーン』礼状

10. 本日の配布

- ① 週報670号
- ② ロータリーの友2月号
- ③『個人にとってロータリーの意味するもの』
(R情報委員長：鳴海淳郎)

スマイルボックス 委員長 小堀 裕子

- 西村駿一ガバナー
地区大会ではコ・ホストクラブとしてお手伝い頂き大変お世話になりました。
- 村津会員
一昨日、日曜日に開催された「別大毎日マラソン」は昭和27年、別府駅前をスタート地点として始まりました。その頃から日本陸連本部の役員として毎年出席されておられる八十八才の古田康治氏を接待する為、家内と三人で、「竹の井ホテル」でお昼を頂戴致しました。三人共大満足でスマイル。
南立石公園みどりの相談所入口の枝垂梅が咲き始めました。公園奥の方の梅林も今五分咲きです。
先週例会の翌日は一面の雪景色でした。そこで一句
「紅白の梅凜と咲く雪舞台」
ご案内に代えてスマイル。
- 津末会員
久しぶりに例会に出席しました。
身内の義兄が死んだり色々な事が続き欠席しました。でもがんばって姉を助けようと思います。寒さが続きますので気をつけようと思います。
- 河村会員
卓話のピンチヒッターの森さん、きょうは楽しみにしています。
- 後藤(健)会員
土、日、月と沖縄へ行ってきました。沖縄では、ヒカン桜が満開でした。モノレールも完成間近かで高層ビルも林立し、活気を呈していました。
- 上妻会員
森会員、本日の卓話「世界理解月間」とはどういうものかよろしく願います。
- 佐藤会員
今日は昼迄の習い事が休みだったので、早く家を出て一Fの作品展をみたくて早く出たのでゆっくり見ることが出来陶芸等は普通の人でも



こんなに出来るのかと感激しながら見させていただきました

○ 森会員

今日は急ぎょ小川会員のピンチヒッターで卓話です。

ピンチヒッターはたいがい空振り!!

資料の棒読みになっても許して下さい。

○ 小堀会員

本日の卓話小川会員のかわりで森会員がピンチヒッターだそうで、前で何を話そうかと悩んでいました。森さん、卓話ががんばって、スマイル!!

卓 話

世界理解月間にちなんで

森 宗明

私的には世界理解について、といえるかどうか解りませんが、これまでに3度、海外からの留学生をホームステイでお世話をした経験からもうしますと、個人を理解するのにさえ、3、4ヶ月では困難です。個人と個人でお互いの生活習慣まである程度理解するとなれば、少なくとも1年は必要であると感じています。世界理解ともなりますと、とんでもなく、永い路程を想像します。まずは隣人の韓国の学生さんから理解をしてあげること努力致しましょう。

以下rotary org.世界理解から世界社会奉仕の部分引用いたします。

世界社会奉仕 (World Community Service WCS)

WCSプログラムは、国際奉仕に属す活動である。ロータリアンは、このような活動を通じて、人々の生活を改善し、人々のニーズに応えるプロジェクトを実施する。そして、物質的、技術的、専門的援助を通じて、国際理解と親善を推進する。(ロータリー章典 43.050.)

目 標

- 1) 援助を必要としている人々の生活の質を、ロータリーの国際奉仕を通じて、高めること；
- 2) 異なる国のロータリー・クラブと地区が協力して国際奉仕プロジェクトを遂行するのを奨励すること；
- 3) 援助を必要とするプロジェクト、それに援助を提供したいという申し出についての情報交換の機会を効果的に提供すること；
- 4) 国際規模の開発や文化上の問題について、さらに自主自助のプロジェクトを実施する重要性についてロータリアンの理解を深めること；
- 5) RIと財団の関係プログラムと活動の参加者

にWCSプログラムの提供するサービスを利用してもらうこと；

- 6) ロータリー財団その他からWCSプロジェクトに授与される補助金についてロータリアンに知らせること；
- 7) WCSの成功談を他のロータリアンに伝えること；
- 8) 国際理解、親善、平和を育成すること。(ロータリー章典 43.050.1.)

WCSプログラムは、次の活動を含む。

- 1) WCSの機会と活動を通じてロータリーの国際奉仕の目標を広く知ってもらうようにすること；
- 2) WCSプロジェクト交換室の推進と活用；
- 3) 適切であれば、地区レベルとクラブ・レベルにおいて国際奉仕委員会とロータリー財団委員会との協力を推進すること；
- 4) WCS活動を含む国際奉仕の牽引車として国際共同委員会を拡張すること；
- 5) 災害救援プロジェクトの支援を推進すること；
- 6) 2月23日の「世界理解と平和の日」の推進；
- 7) WCSプロジェクトを寄贈品と奉仕活動で援助するための現物拠出情報ネットワークの活用；
- 8) WCSプロジェクト実施の財源としてロータリー財団補助金を使うこと；
- 9) 国際奉仕プロジェクト諮問委員会 (IPACs) がWCS活動の有益な骨組みとなっている地域においては同委員会の目的と業績を推奨すること；
- 10) 国際ボランティア奉仕など、WCS活動にロータリアンを直接参加させること。(ロータリー章典 43.050.2.)

地区とクラブはWCS小委員会を含む国際奉仕委員会を設置するよう推奨されている。その目標は、理解を深め、連絡を直結させ、あらゆる種類の国際奉仕の責任系統を明確にすることである。クラブ会長とガバナーは、WCS小委員会委員長を、適切であれば、社会奉仕委員会の職権上の委員に任命するよう奨励されている。(ロータリー章典 21.060.)

WCSまたは国際奉仕プロジェクトが、3地区以上のクラブを含むと思われる場合、第2章の「多地区合同活動」の項に記載されている方針を参照しなければならない

地区WCS委員会または小委員会は次のことをすべきである。

- 1) 地区内のすべてのロータリー・クラブに、他国のロータリー・クラブとWCSの提携をす



るよう奨励すること；

- 2) 地区内各クラブとの定期的接触および地区の諸会合並びに都市連合会等を通じて、WCSプログラムに対する理解の増進を図り参加を推進すること；
- 3) 他国のロータリー・クラブからWCSの援助を受けることができるとされる地元のニーズを見つけるよう地区内のクラブを激励すること；
- 4) 地区内のクラブから報告されている実施中のWCSプロジェクトを審査し、それをガバナーに報告し、該当すれば、WCSプロジェクト交換室にプロジェクトを登録するよう力を貸すこと；
- 5) WCS活動のために提供可能な地域社会内の援助資源を探し出すよう地区内クラブを奨励すること；
- 6) WCSを地区内のすべての関係報道機関（ロータリーとの関係の有無を問わず）に発表すること；
- 7) 地区規模のWCSプロジェクトを実施すること；
- 8) 地区内のWCS活動の記録を取り、定期的にガバナーおよび世界本部へ報告すること；
- 9) 金銭は、世界本部から送金するので、RIを受取人とし、エバンストンの世界本部に送付するよう奨励すること。（ロータリー章典21.060.1.）

地区やクラブから特定のWCS活動に関して協力や援助を要請する場合、一つまたは限られた数の地区かクラブを対象とするならば、配布に関する一般規定に課された制限条項に制約されない。（ロータリー章典12.040.2.）

世界社会奉仕プロジェクト交換

RI事務局は、提唱ロータリー・クラブ、ローターアクト・クラブ、インターアクト・クラブ、ロータリー地域社会共同隊が援助を要請しているWCSプロジェクトの「登録」を整備している。ロータリー・クラブは2通りの方法でこの登録を活用することができる：

- 1) 社会奉仕プロジェクトに援助を求めているクラブは、プロジェクトの詳細をプロジェクト交換資料書式に記入して提出できる。この書式は、ガバナーと地区WCS委員会委員長を経て世界本部に送付する。書式に記入されたプロジェクト情報は、RIウェブサイト(www.rotary.org)からダウンロードできる出版物であるWCSプロジェクト交換一覧表に掲載される。
- 2) WCSプロジェクト交換を支援したいクラブは、

世界本部に連絡を取り、特定の国または地理的区域におけるプロジェクト、特定種類のプロジェクト、或いは特定金額に関する情報を要請することができる。要請をしたクラブには、支援したい分野に沿って一つまたはいくつかのプロジェクトについての情報が送られてくる。情報を要請したからといって、そのクラブがWCSプロジェクトを引き受ける義務を負うことにはならない。

ガバナー、ロータリー・クラブが、ロータリーに合致した目的と活動を掲げる他団体と協力するのは妥当と思われる。但し、このような協力がWCSの実施に著しく役立つ場合に限られる。（ロータリー章典 43.050.3.）（第3章の「国際ロータリーと他団体との協力」の項と本章の「災害救援」の項を参照のこと）。

現物拠出情報ネットワーク

(Donation-in-kind Information Network)

現物拠出情報ネットワーク(DIN)は、WCSプログラムの中の推奨されている奉仕活動で、現物を寄贈しようとするロータリアンと、その寄贈品を活用できるロータリー・プロジェクト（または他のプロジェクト）とを結びつける情報システムを提供することである。主として開発途上国のプロジェクトがこの寄贈品を利用できる。

このシステムの目標は：

- 1) WCSプロジェクトへの援助を必要としているロータリアンの援助源を増やすこと。
- 2) 全ロータリアンの情報源となり、WCS活動を全般的に支援するため、WCSプロジェクト交換を効果的に補足すること。（ロータリー章典 43.050.4.）

世界社会奉仕ネットワーク

(World Community Service Network)

世界社会奉仕ネットワークは、WCSプロジェクト開発や寄贈品の海外輸送に知識や経験の面で実績のあるロータリアンによって構成される。このロータリアンたちは、クラブや地区の国際奉仕プロジェクト実施を進んで援助する。ネットワークは、具体的に言えば、国際奉仕プロジェクトを成功させる方法、ロータリー財団その他から得られる資金調達の手続き、寄贈品の海外輸送手続についてクラブや地区に総合的情報や助言を提供するものである。（ロータリー章典51.090.）RIは、WCSプロジェクトを実施する上での専門知識を持つロータリアンのデータベースを整備することにより、世界社会奉仕ネットワークを支援する。